

地域密着型金融の推進について

平成22年5月



「地域密着型金融の推進について」 <目次>

I. 「地域密着型金融の推進」の基本的な方針	…P 1
<平成21年度の取組みについて>	…P 2
II. 地域密着型金融の重点項目と具体的取組み	
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化	
①創業・新事業支援	…P 3
②経営改善支援	…P 4
③事業再生支援	…P 5
④事業承継支援	…P 6
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底	…P 7
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献	
①地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一時的な「面」的再生への取組み	…P 8
～グループの広域ネットワークを活用したビジネスマッチング～	…P 9
②地域活性化につながる多様なサービスの提供	…P10
III. 21年度目標項目の達成状況	…P11
<平成22年度の推進方針について>	…P12
IV. 平成22年度の重点項目と具体的取組み	
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化	…P13
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底	…P15
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献	…P16

(1) 基本方針

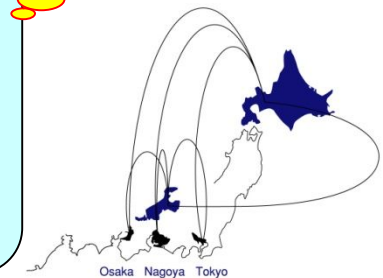
「ほくほくフィナンシャルグループ」は、地域密着型金融の本質である「地域と共に生きる」という高い志のもと、地域の皆さまのニーズにお応えし、皆さまと共に歩み、成長・発展することを目指します。

(2) 中期経営計画“Road to 10”における地域密着型金融への取組み

中期経営計画“Road to 10”（2010年4月～2013年3月）について

▶経営の3つの柱「営業力の強化」「経営の効率化」「経営基盤の安定化」を更に進めていくことを基本方針としており、このうち「営業力の強化」のために実践する“トリプルR”（Retail～親しまれる、Relation～頼りにされる、Region～地域密着）の一つとして「地域密着」を掲げております。地域の成長業種支援や、企業誘致、産学官連携の取り組み、CSRへの取り組みなどを通じて、地域金融グループとして一層地域に密着した活動を行ってまいります。さらに、地銀随一の充実した海外ネットワークを活用した海外ビジネス支援による「地域経済の活性化」を目指していくことについても重要な施策として掲げております。また、「経営基盤の安定化」のためには経営理念でもある「地域共栄」の方針のもと、地域社会への貢献を実践してまいります。

当Gの中期経営計画では「地域から親しまれ、頼りにされる金融G」を目指しています。



広域地域金融グループとしてのビジネスモデルの展開には、地域密着型金融の本質を踏まえた継続的な推進が不可欠であり、新たな中期経営計画においても重要な位置付けとしております。

平成21年度の取組みについて

Ⅱ. 地域密着型金融の重点項目と具体的取組み

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

①創業、新事業支援

具体的な取組み【北陸銀行】	具体的な取組み【北海道銀行】
<ul style="list-style-type: none"> ・産学連携ヒアリングシートの活用により、大学と取引先をマッチングし、新事業の共同研究をサポート ・技術移転支援の一環として、大学の新技術説明会を後援 ・外部機関との連携も取入れた、創業、開業支援の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベンチャー向投資ファンド「道銀どさんこファンド」、「札幌元気チャレンジファンド」などを活用した創業、新規者への支援 ・農商工連携への取組強化による創業、新事業への支援

創業・新事業支援融資の実績（平成21年度）

	内容	実績
北陸銀行	創業・新事業支援に資金用途を限定した制度融資	230件／1,375百万円
北海道銀行	創業・新事業支援に資金用途を限定した制度融資	70件／ 682百万円

北陸銀行の取組み事例



■「新技術説明会」in東京 (21/10)

北陸地区の4校合同の新技術説明会を後援。

首都圏に店舗網を数多く構える当行の特徴を活かし、産学連携の観点から多数の東京地区お取引先の来場を誘致しました。

● 産学連携、新技術発表会後援による技術移転支援

開催年月	説明会
21/7	富山大学「コラボフェスタ2009」（富山）
21/7	金沢大学「新技術説明会」（東京） 当行取引先75社75名来場
21/8	福井大学「産学連携学会」（福井） 当行ブース出店 取引先多数来場
21/10	4校合同「新技術説明会」（東京） 当行取引先92社92名来場

Ⅱ. 地域密着型金融の重点項目と具体的取組み

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

②経営改善支援

具体的な取組み【北陸銀行】	具体的な取組み【北海道銀行】
<ul style="list-style-type: none"> ・各種相談会やセミナーを開催し、経営改善に繋がる情報提供、各種コンサルティングを実施 ▶事業承継・M&Aセミナー（6回、参加累計186名） ▶グローバルセミナー（3回、参加累計190名） ▶ビジパ倶楽部セミナー（6回、参加累計151名） その他、各種セミナーを多数開催 ・海外駐在員事務所の活用、各種レポート発刊によるタイムリーな情報提供を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別企業に対して、本部専門スタッフによるコンサルティング機能を発揮した総合経営支援、ものづくり講習会などの各種セミナー・相談会開催による情報提供 ▶ものづくり関係セミナー（2回、参加累計99名） ▶カイゼン関係セミナー（2回、参加累計191名） ▶マネジメント関係セミナー（2回、参加累計63名） その他、各種セミナーを多数開催 ・海外事務所の活用などによるタイムリーな情報提供

北海道銀行の取組み事例

■ものづくり企業への支援



「モノづくり現場管理者実践研修会」～平成22年11月9日～11日開催

製造業の成長、経営改善に向けた支援のために、様々な取組みを実施しております。その中の一つとして、製造業の現場管理監督者を対象として、「カイゼン活動」を社内で中心となって行う人材を育成する愛知県内(2泊3日)の企業研修を実施しました。

■北海道の強さを伸ばす取組み



「地域力連携拠点事業 農商工連携セミナー」～平成22年1月25日開催

北海道の強みである「農業」をさらに伸ばし、道内経済の活性化に貢献するため、様々な取組みを実施しております。支援体制のさらなる充実を図るため、平成21年6月には、「アグリビジネス推進室」を新設いたしました。

Ⅱ. 地域密着型金融の重点項目と具体的取組み

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

③事業再生支援

具体的な取組み【北陸銀行】	具体的な取組み【北海道銀行】
<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善支援室を立ち上げ、再建計画策定支援、中小企業支援協議会との連携等により事業再生支援を強化 ・企業再生に関する人材育成・ノウハウの伝承、T V・W e b会議等活用による本支店の連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部機関との連携によるコンサル相談会の開催など経営改善計画策定支援、事業再生ファンドの活用、中小企業支援協議会などと協調した事業再生支援への取組強化 ・事業計画書の作成支援および検証能力の強化

北陸銀行の取組み状況

中小企業再生支援協議会・RCCの活用

再生計画策定先・支援決定先	12件	4,958百万円
うちメイン行としての案件持込み	7件	4,202百万円

北陸銀行独自の再生計画策定

再生計画策定先数	452件	118,938百万円
うちメイン行としての再生計画策定	385件	103,017百万円

※上記金額は、支援決定時の当該先に対する債権残高

北海道銀行の取組み状況

中小企業再生支援協議会・RCCの活用

再生計画策定先・支援決定先	14件	2,418百万円
うちメイン行としての案件持込み	3件	1,921百万円

北海道銀行独自の再生計画策定

再生計画策定先数	255件	137,793百万円
うちメイン行としての再生計画策定	232件	125,973百万円

※上記金額は、支援決定時の当該先に対する債権残高

経営改善支援の取組み実績

期初債務者数	14,279先	経営改善支援取組み率	4.73%
経営改善支援取組み先数	676先	再生計画策定率	96.15%
再生計画策定先数	650先	ランクアップ率	14.64%
ランクアップ先数	99先		
期初債務者数	4,331先	経営改善支援取組み率	7.08%
経営改善支援取組み先数	307先	再生計画策定率	68.72%
再生計画策定先数	211先	ランクアップ率	8.46%
ランクアップ先数	26先		

※上記先数、比率には正常先を含んでおりません

※上記先数、比率には正常先を含んでおりません

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

④事業承継支援

具体的な取組み【北陸銀行】	具体的な取組み【北海道銀行】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門知識を有する本部P Bチーム、M&Aチームおよび営業店P Bデスクが中心となり、きめ細かな訪問提案活動によるコンサルティングを実施 ・ P Bトレーニーの実施、本部から営業店への各種情報提供による行員のスキルアップを行ない、お取引先への支援を強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別企業に対して本部専門スタッフによるコンサルティング機能を発揮した事業承継支援、セミナー開催による各種情報提供 ・ プライベートバンキング機能、M&Aアドバイザー業務の活用による支援 ・ 道銀経営塾による人材育成サポート ・ 行員向け研修実施による事業承継ソリューションスキル強化

北海道銀行の取組み事例

平成21年度道銀経営塾

経営を体系的に学ぶビジネススクールを開講し、将来の後継者を育成することにより、長期的視点に立った事業承継支援を実施しております。

平成21年度道銀経営塾は既に第11期目を迎え、現在までの卒業生は累計281名となっており、卒業生の3分の1以上の方が既に経営者としてご活躍されています。

この他にも、単独で対応することが難しい事業承継のノウハウについて、本部専門スタッフによるきめ細やかな提案を実施しております。



道銀経営塾の講義風景

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

①不動産担保、個人保証に依存しない融資の推進

具体的な取組み【北陸銀行】	具体的な取組み【北海道銀行】
<ul style="list-style-type: none"> ・「マル保ABL」活用による売掛債権担保融資、流動資産担保融資保証制度による動産担保融資のほか、債権流動化への取組みなど、資金供給方法の選択肢を増やし、お取引先に適した融資手法を提示 	<ul style="list-style-type: none"> ・債権流動化プログラムの活用、動産、売掛債権、債権譲渡担保付き融資への取組み ・日本政策金融公庫提携ローン「道銀アグリ・ワイド」の取組み

②企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組

具体的な取組み【北陸銀行】	具体的な取組み【北海道銀行】
<ul style="list-style-type: none"> ・若手向け融資部実習から、支店長向け与信管理力強化研修まで、全体の融資審査レベルアップに繋げる研修を実施 ・業種別の業界動向や特徴を学ぶ「業界の達人」講座による専門性の高い人材育成を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・業種別審査の拡大・細分化と業種別研修会の実施による審査能力の向上 ・若手・中堅・役席向け階層別研修会の実施による人材の育成

北陸銀行の取組み事例

■「業界の達人」養成講座

企業の将来性、技術力を的確に評価でき、更に専門性の高い相談機能を発揮し、タイムリーな情報提供ができる行員育成を図るべく、業種別の業界動向を学ぶ「業界の達人」講座をシリーズで開催しました。



●「業界の達人」シリーズ

	内容
第1回	医療・介護関連
第2回	農業ビジネスセミナー
第3回	環境関連

お取引先からの関心が高まっている「農業」を対象としたセミナーを開催するとともに、業界の達人養成講座に組み入れ、行員も受講し専門知識を高めました (22/2)

Ⅱ. 地域密着型金融の重点項目と具体的取組み

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

① 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一時的な「面」的再生への取組み

具体的な取組み【北陸銀行】	具体的な取組み【北海道銀行】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 当行独自の広域店舗網、他行との広域連携を活用した、顧客僚店貢献運動、ビジネスマッチングの取組み強化 ・ 地方公共団体との連携による再開発事業への参加、商業テナント改装による賑わいスペース提供など、中心市街地活性化に貢献 ・ 環境格付に基づく融資の実施、環境配慮型営業車の導入など、環境保全活動への取組み強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループの北陸銀行やシステム共同化を行う横浜銀行などとの広域連携、グループを含めた海外ネットワークを活用したビジネスマッチングの取組み強化 ・ 北海道の「食」特別商談会や北海道ビジネスフォーラムなど各種商談会の開催、道銀アグリパートナーズなどの活用、製造業支援など地域振興施策を実施 ・ 台湾ATM・Smart Payデビットサービス開始

北陸銀行の取組み事例

■ 「てるてる亭ほくほく通り」 ■ 環境評価融資を開始オープン



中心市街地のビル1階を「てるてる亭ほくほく通り」にリニューアルし、賑わい創出に貢献。(22/2)

日本政策投資銀行との提携による環境評価融資「エコリードマスター」の取扱いを開始し、金融面から企業の環境配慮経営を促進。(21/11)



北海道銀行の取組み事例

■ 中国・ロシア進出支援 ■ 台湾ATM・Smart Payデビットサービス開始



22年1月に「中国室・ロシア室」を新設。専任スタッフを配属し、中国・ロシアへの進出、貿易取引拡大を目指す企業の支援体制を強化。

写真: サハリン州との協力協定締結(22/2)

観光立国・北海道の活性化に貢献すべく、国内初となる海外カードの金融サービスを開始。(22/1)



地域密着型金融に向けた具体的な取組み

～地域とお客さまのために～

北海道銀行

「道銀ロシア極東ビジネス交流会inサハリン」

道内企業が建設したモデルハウス、ロシア企業が分譲したスモールタウンや天然ガス発電所等を視察。また現地ロシア企業との意見交換やセミナーなどの交流会を行いました。



北海道銀行のお取引先様から64社80名が参加 (21/10)

北陸銀行

「東海北陸地区ビジネスマッチングフェア」

高岡開町400年を記念し、東海・北陸地区のビジネス交流を目的とした商談会を開催しました。



海外（中国）を含む47社のバイヤーが参加し、5,000件を超える商談が行われました (21/10)

北陸銀行

次世代経営者養成講座

MBA取得者である行員が講師となり、中小・中堅企業の若手後継者を対象に、経営実務を学ぶための講義を行いました（全7回）。



内部統制とリスク管理について学ぶ若手後継者 (21/10)

北海道銀行

「第6回北海道の『食』特別商談会」

41社の企業が出展、27社36名の道内外のバイヤーが参加し、展示商談会と個別商談会を実施いたしました。



個別商談会の様子 (21/9)

Ⅱ. 地域密着型金融の重点項目と具体的取組み

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

②地域活性化につながる多様なサービスの提供

具体的な取組み【北陸銀行】	具体的な取組み【北海道銀行】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 寄付講座・講演の実施、小中学生向け金融教育、インターンシップ等を通じ、地域を担う若い世代へ金融知識を普及 ・ 大学への「若手研究者研究助成金制度」の創設などによる研究環境の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元大学への講師派遣、インターンシップ、小中学校・高校の職場体験学習の実施などを通じた金融経済教育活動の実施

北陸銀行の取組み事例

■「エコノミクス甲子園」開催 ■小学生就業体験「キッズニア計画」

高校生の金融経済教育普及を目指し、NPO法人金融知力普及協会と共同開催。富山、福井の2会場で56チーム112名の高校生が参加（21/12）



小学生の就業体験イベントに「未来ぼーろ銀行」として参画（21/11）

北海道銀行の取組み事例

■地元大学への特別講師派遣 ■職場体験学習受け入れ

地元大学に対し当行職員を特別講師として派遣し、地域金融機関の役割や金融経済などに関する講義を実施しています。



金融経済教育の一環として、道内小・中・高・短大などからの職場体験学習を受け入れしています。職場体験学習では、児童・学生達が本部・営業店の行内見学や実習を通じ、銀行業務を体験しています。

Ⅲ. 21年度目標項目の達成状況

北陸銀行

目標項目	21年度目標	21年実績	達成率
債務者区分ランクアップ件数	70件	99件	141.4%
事業承継提案書作成件数	400件	351件	87.7%
研修受講者数(融資審査関連)	350人	531人	151.7%
「顧客僚店貢献運動」取組み件数	30,000件	26,624件	88.7%
各種研修講師派遣	150件	156件	104.0%

北海道銀行

目標項目	21年度目標	21年度実績	達成率
債務者区分ランクアップ件数	40件	26件	65.0%
コンサルティング先数	400社	569社	142.2%
債権流動化、動産、債権譲渡担保付き 融資、アグリ・ワイド実績	18,000百万円	20,991百万円	116.6%
研修会受講者数(融資審査関連)	300人	313人	104.3%
「イチオシ！」マッチング社数	100社	109社	109.0%

平成22年度
地域密着型金融の推進方針について

IV. 平成22年度の重点項目と具体的取組み

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化①

項 目	具体的な取組み【北陸銀行】	具体的な取組み【北海道銀行】
創業、新事業支援	<ul style="list-style-type: none"> ・技術発表会の後援等、産学官との連携を通じた技術移転支援 ・産学交流サミットの開催、ヒアリングシートの活用による、大学と取引先のマッチング強化 ・創業支援融資制度の活用、「中小企業応援センター」との連携による、創業、開業支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベンチャー向け投資ファンド「道銀どさんこファンド」、「札幌元気チャレンジファンド」などを活用した創業、新事業への支援継続 ・農商工連携への取組み強化による創業、新事業支援
経営改善支援	<ul style="list-style-type: none"> ・各種相談会、セミナーの開催およびコンサルティング機能発揮による事業支援 ・海外事務所の活用、各種レポート発刊によるタイムリーな情報提供 ・地域活性化ファンドの組成等による、金融面でのモノ作り企業支援、地場産業の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別企業に対するコンサルティング機能の発揮による総合経営支援 ・ものづくり講習会などの各種セミナー・相談会開催による情報提供 ・行員向け研修実施によるソリューションスキル強化 ・海外事務所の活用などによるタイムリーな情報提供

IV. 平成22年度の重点項目と具体的取組み

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化②

項目	具体的な取組み【北陸銀行】	具体的な取組み【北海道銀行】
事業再生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・本支店の連携（TV・Web会議活用）による再建計画策定支援、事業再生ファンドの活用、中小企業支援協議会や中小企業応援センターとの連携による事業再生支援強化 ・企業再生研修実施等を通じた人材育成、ノウハウの伝承 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業支援対象先の他、金融円滑化に基づく貸出条件変更実施先に対する経営相談、経営指導、経営改善計画策定支援 ・コンサル相談会の開催、事業再生ファンドの活用、中小企業支援協議会との協調
事業承継支援	<ul style="list-style-type: none"> ・本部PBチーム、M&Aチームによるコンサルティング機能を備えた事業承継支援 ・PBトレーニーの実施、本部から営業店への各種情報提供を通じたスキルアップ →お取引先への支援強化へ 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別企業に対するコンサルティング機能の発揮による事業承継支援、セミナー開催による各種情報提供 ・プライベートバンキング機能の活用、道銀経営塾による人材育成サポート、M&A支援 ・行員向け研修実施による事業承継ソリューションスキル強化

【平成22年度の具体的目標】

北陸銀行

目標項目	22年度目標
債務者区分ランクアップ件数	70件
事業承継提案書作成件数	400件

北海道銀行

目標項目	22年度目標
債務者区分ランクアップ件数	45件
コンサルティング先数	400社

IV. 平成22年度の重点項目と具体的取組み

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

項目	具体的な取組み【北陸銀行】	具体的な取組み【北海道銀行】
不動産担保、個人保証に依存しない融資の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・流動資産担保融資保証制度の活用、リース会社提携による「営業車担保ローン」「機械担保融資保証制度」の活用 ・債権流動化、動産、債権譲渡担保付き融資など、取引先に適した融資手法の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・債権流動化プログラムの活用、売掛債権担保融資への積極的取組み
企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・「業界の達人」講座の実施による業種別専門知識の習得 ・幅広い世代に対し、企業評価能力、融資管理能力を強化し、資金供給に繋がるための研修を実施 ・外部研修への派遣による、専門家知識レベルの習得 	<ul style="list-style-type: none"> ・若手・中堅・役席向け階層研修会実施による人材育成 ・特に若年層に対しては法人融資担当者全員を対象とした研修を実施し、実態把握力、融資判断力を強化

【平成22年度の具体的目標】

北陸銀行

目標項目	22年度目標
研修受講者数(融資審査関連)	500人

北海道銀行

目標項目	22年度目標
研修受講者数(融資審査関連)	400人
債権流動化、売掛債権担保融資(査定額残高)、アグリ・ワイド実績	30,000百万円

IV. 平成22年度の重点項目と具体的取組み

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

項目	具体的な取組み【北陸銀行】	具体的な取組み【北海道銀行】
地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一時的な「面的再生」への取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当行グループの広域店舗網、海外ネットワークを活用した、顧客僚店貢献運動、ビジネスマッチングへの取組み強化 ・ ビジネスサミットをはじめとする、各種商談会の開催 ・ 地方公共団体との連携による、再開発事業、地域振興施策への積極的な参加 ・ 環境格付融資による金融面での環境配慮経営の促進、太陽光発電店舗の拡充など、環境保全活動への取組み強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループの北陸銀行、あるいはシステム共同化を行う横浜銀行や親密地銀との広域連携、さらにグループを含めた海外ネットワークも活用したビジネスマッチングへの取組み強化 ・ 北海道の「食」特別商談会や北海道ビジネスフォーラムなど、国内外における各種商談会の開催 ・ 各種地域振興施策への積極的な取組み
地域活性化につながる多様なサービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ MBA講座、次世代経営者講座等の開講、インターンシップ等を通じた、地域を担う若い世代への金融知識の普及 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金融経済教育活動への取組み強化 ・ 地元大学への講師派遣、インターンシップ、小中学校・高校の職場体験学習の継続実施

【平成22年度の具体的目標】

北陸銀行

目標項目	22年度目標
「顧客僚店貢献運動」成功事例件数	10,000件
各種研修講師派遣	150件

北海道銀行

目標項目	22年度目標
ビジネスマッチング成約件数	300件